

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-187543

(43)公開日 平成9年(1997)7月22日

(51)IntCl. [*]	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 C	9/02		A 6 3 C	
	5/00		5/00	B

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-25738

(22)出願日 平成8年(1996)1月2日

(71)出願人 596019307

渡邊 芳晴

東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎16-14

(72)発明者 渡邊 芳晴

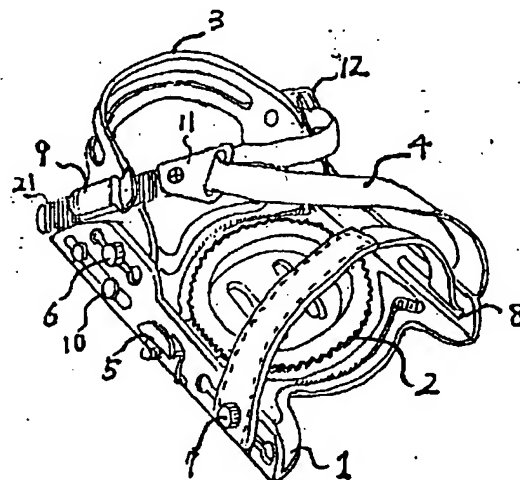
東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎16-14

(54)【発明の名称】 スノーボード用固定装置

(57)【要約】

【課題】本発明はスノーボードを行うには、ブーツとボードとを固定する為の専用器具で、人によって異なるスタンス、ブーツサイズ、スタンス角度など面倒な調節を簡単な操作で容易に調節脱着がワンタッチで出来る事を目的とする。

【解決手段】本発明は、ダイヤル状ビス6を鉄アレー状の穴をスライド固定し角度調節レバー5でスタンス角度を調節出来る。又、1本のベルト及び1つの締め付け器具にてワンタッチ脱着することが出来る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 基部プレート前後に位置するダイヤル状の手動ビスを緩める事で、鉄アレー状の穴をスライドする補強カシメピンを持ち容易に手動でスタンス位置及びブーツの大小寸法を調節できる固定装置。

【請求項2】 締め付けベルトは前部後部を結ぶ一帯物で、中心部は襷掛け状であり基部プレート前部の長穴に締め付けベルトが滑ることによって締め付けると後部へスライドし調節不要とし、ブーツへの締め付け安定性を向上させ後部に固定される1つのラチェット式緊締器具により全ベルトを締め付け及び解除出来る固定装置。

【請求項3】 基部プレート及びハイバック脚はジュラルミン系アルミ合金など半円形補強リブを設け熱処理をすることにより軽量かつ強硬な本体からなり基部プレート横のレバーを引くことにより基部プレート中心部の固定板を軸として、ブーツの有無を問わず回転し角度調節を容易にする固定装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】本発明は、人によって異なる調節を工具を使用せずに手動にて容易にできワンタッチ脱着するスノーボード用固定装置である。

【0002】

【従来の技術】スノーボードを行うには、一般にスキーと同様に中央に反りを有し前部及び後部に反り上がった1枚の板に両足を専用ブーツにて固定し雪斜面を滑走するスポーツであり専用ブーツとボードとを固定する装置（以下バインディング）が必要である。そのバインディングに通常片足分2本のベルトとノコ刃形バンドを2つの締め器具で締め付ける物で両足で4か所の操作を必要とし、人によって異なるスタンス及びブーツサイズが有るので工具が必要となり非常に面倒である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】箇所急速に普及し始めているスノーボードはスキーに比べ歴史は浅いので急激な愛好者増に技術面では遅れている状況であり同国内のスキー場及びリフトの混雑は必然である。従って安全かつ敏速な脱着調整を目的とし、工具など使用せずに行われる物が好ましい。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は片足1か所の操作にてワンタッチ脱着し手動にてダイヤル状ビスをゆるめハイバック脚及びベルト位置をスライド調節し中央部横に有るレバーを引くことによりブーツの有無を問わずスタンス角度を調節出来ることにより問題点を解決している。

【0005】

【発明の実施の形態】本バインディングはハイバック脚及び前部ベルト位置を手動で鉄アレー状の穴にダイヤル状ビスをスライドさせブーツサイズ及び前後スタンス位

置を調節し1本のベルトで前後同時にブーツをラチェット式締め付け器具で締め付け固定する。またスタンス角度調節は中央部横のレバーを引くことにより基部プレートを中心に回転しレバーをはなすことにより常にスプリングにて押しているレバーを戻すので固定出来る。

【0006】

【実施例】以下、添付図面に従って実施例を説明する。1は軽合金を部材とし補強リブ20を備え熱処理をすることにより軽く強い耐久性と操作性に優れている。又部材は同値以上の物であれば他の部材も使用出来る。

【0007】2は1の中心部に有る歯車状で有りレバー5を引く事により基部プレート1を回転させ、レバー5を放す事により、常にスプリングにて押しているレバーを戻すので固定できる。

【0008】3はハイバック脚を手動で鉄アレー状の穴をダイヤル状ビス6をスライドさせ固定し、前部ベルト位置7も同じである。尚ハイバック脚下方にカシメピン10を設け安全性を高めている。

【0009】4は1本のベルトで7が調節固定され、前部長穴8を滑り締め付けることにより後部にスライドする為調節不要とし、前部から後部へ連なり中心部にある引っ張り器具11にて締め付けしベルト前部後部を同時に締め付ける事が出来る。又1本のベルトは先に後部にある長さ調節固定金具12にておおよその長さ調節固定をしておく。

【0010】9は、前記ベルト4を引っ張り締め付けるラチェット器具で、ノコ刃形ベルト21を送り込み、送りレバー22をAからBへ移動させる事でノコ刃形ベルトを送り締め出来る。又、解除レバー23をCからDへ引き上げることで爪型ストッパー24を押し、簡単にノコ刃形ベルトを抜く事ができる。

【0011】本発明の実施例は上記の如き構成からなり、一般にスノーボードを行うには、専用ブーツ15とボード13とを固定するバインディング14が必要であり通常片足で2本のベルト19とノコ刃状バンド18を2つの締め付け器具17調節器具16で締め付けし両足で4か所の操作と工具にて各スタンス、サイズ、角度を必要とし、非常に面倒である。本発明の実施により大幅に安全かつ敏速な脱着調整が出来ることを目的とする。

【0012】図及び説明は本発明の目的であり全体の形状や部品の形状構成も適宜の形とする事が可能である事は明らかである。

【考案の効果】上記の様に、本発明のスノーボード用固定装置は、各部調節、脱着を簡単な操作で容易にし、リフトへの乗り降りやゲレンデでの調節が敏速に出来るのでスキー場の混雑を緩和し安全にスポーツを楽しむことに役立つ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のスノーボード固定装置の斜視図である。

3

4

【図2】一般に雪斜面を滑走する側面図である。

【図3】一般にブーツとボードを固定する正面図である。

【図4】本発明のブーツとボードを固定する正面図である。

【図5】本発明の固定装置の上面図である。

【図6】本発明のブーツ脱着の正面図である。

【図7】本発明のラチェット式締め付け器具の可動を示す断面図である。

【図8】本発明のベルトの長さ調節固定金具の断面図である。

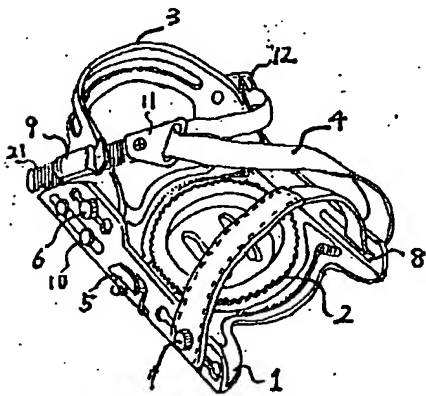
【図9】本発明のベルト引っ張り器具の正面図である。

【符号の説明】

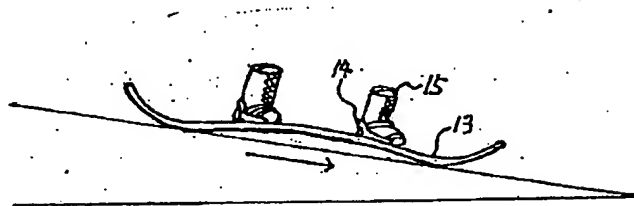
1. 固定装置本体
2. 角度調節プレート
3. ハイバック脚
4. 締め付けベルト
5. 角度調節レバー
6. ダイアル状ビス

7. ダイアル状ビス
8. ベルトスライド用長穴
9. ラチェット式締め付け器具本体
10. カシメピン
11. ベルト引張り器具
12. 長さ調節固定金具
13. ボード
14. バインディング
15. ブーツ
16. 調節器
17. 締め付け器具
18. 通常の、のこ刃バンド
19. ベルト
20. 補強リブ
21. 本発明用の、のこ刃バンド
22. 送りレバー
23. 送り爪
24. ストッパー爪

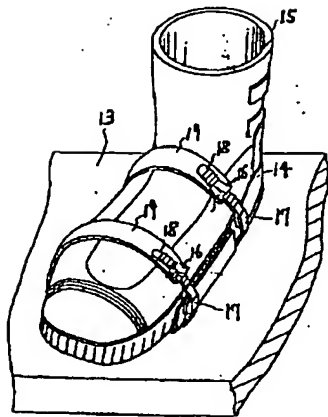
【図1】



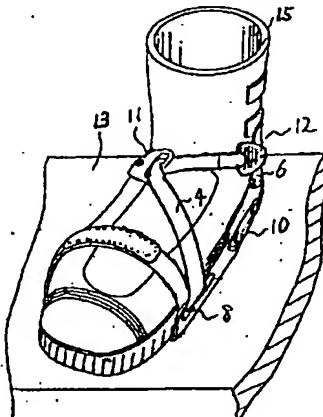
【図2】



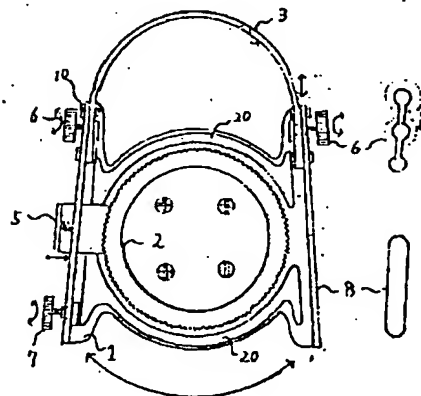
【図3】



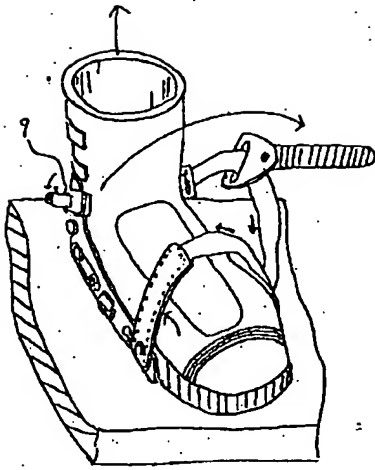
【図4】



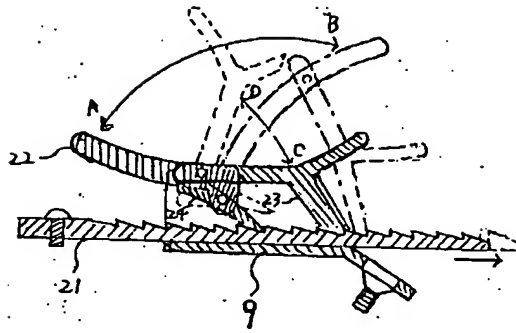
【図5】



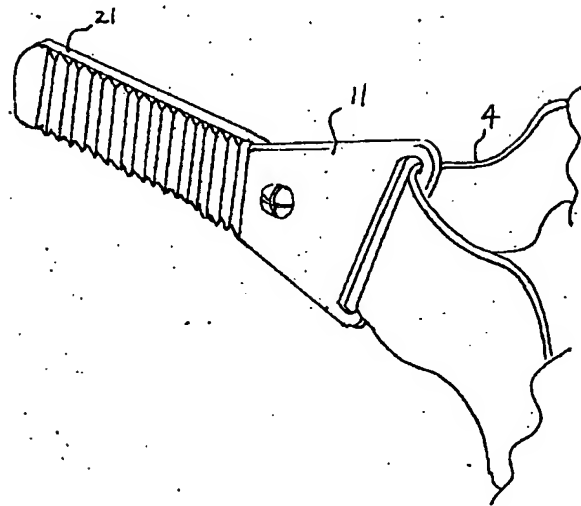
【図6】



【図7】



【図9】



【図8】

